

大手雑貨店と提携して販路を拡大

（株式会社南阿蘇農園）

＜法人の概要＞

所在地：熊本県南阿蘇村

設立：平成 22 年 10 月

資本金：500 万円 売上高：19,400 万円（令和 2 年）

構成員（議決権）：農業関係者（85%）、農業関係者以外（15%）

役員：1 名（うち農作業従事者 1 名）

経営面積：2.0ha

作付作物：ハーブ類



レモングラス畑の様子



レモングラスの刈り取り

＜営農を開始するまでの状況＞

（株）南阿蘇農園は、健康茶、野草茶、西洋ハーブなどお茶の製造・販売を手掛ける、（株）クマモト敬和（熊本市）が平成 22 年 10 月に設立した農地所有適格法人である。

（株）南阿蘇農園は（株）クマモト敬和が原料として使用するレモングラスの栽培に取り組んでおり、平成 23 年度は南阿蘇の農地約 0.8ha を賃借し、7 トンの収穫を行った。

需要に見合う量をすべて自社生産すれば 10ha 以上の農地が必要となるため、南阿蘇村と相談しながら農地の確保に努めており、将来的には 20ha 程度まで拡大していきたいと考えている。

＜特徴的な取組＞

【他の企業との連携】

（株）クマモト敬和は、女性を中心に人気のあるハーブティーに注目し、レモングラスなど約 70 種類のハーブティーを独自ブレンドするとともに、アロマキャンドルなどハーブ関連商品の開発にも注力している。当初は、自社が運営する南阿蘇のハーブティー専門店等で販売していたが、平成 23 年 3 月の九州新幹線全線開業に合わせた福岡市内の大手雑貨店への出店を契機に、大阪、東京など県外への進出に弾みがついた。現在は、商談会等にも積極的に参加し、ハーブティーの需要増加を目指している。

＜今後の農業経営の展開方向＞

（株）南阿蘇農園では南阿蘇のブランドイメージを大切にしており、地域と共に発展していきたいと考えている。そうした観点から、南阿蘇村やＪＡ、農家の方々の協力を得ながら南阿蘇産のハーブ供給量を増やしていきたいと考えている。

喫緊の取組としては、加工所を建設し、原料の自社栽培から加工・販売までを手掛ける六次産業化を図りたいと考えている。また、さらなる新商品開発に努め、現在の提携先とも連携を図りながら、海外への展開を見据えた地ならしを行ってまいりたい。

また、県外からの就農希望者も多いので、住居など受入環境の整備についても検討していきたい。

＜今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス＞

これからの農業は、日本経済の中心になっていくものだと実感しており、大きく成長が見込まれる産業だと思っている。日本農業の技術レベルは他の国と比べても非常に高いところにあると思う。素晴らしい農業技術を継承し、そこに企業経営のノウハウをプラスすれば必ず素晴らしい農業生産法人になると信じている。



レモングラス



大手雑貨店内の自社店舗（東京新宿）